

# Webサイトリニューアルのポイントと実例(制作編)

合資会社アイタス  
<http://www.i-tasu.co.jp/>

2009.8.26

## 概要

- 北海道大学 理学部 生物科学科(生物学)様 の事例紹介
- 北海道大学 大学院文学研究科・文学部 様の事例紹介
- CMS(簡易更新システム)の操作デモ

## 事例1

# 北海道大学 理学部 生物科学科(生物学)様



サイトリニューアルの目的

# 閲覧者が生物学に興味をもってもらうこと

このサイトを一番見せたい相手

## 受験を検討している高校生

サイト内のコンテンツ企画、目的のコンテンツへ誘導するための導線、全体の設計は、科学技術コミュニケーション工房スペースタイム中村様  
がご担当されています。アイタスでは、それらの企画・コンテンツを  
どのように実現・構築するかという点において担当いたしました。

企画・ディレクション：科学技術コミュニケーション工房 スペースタイム  
制作：アイタス

## リニューアル前後の比較

## リニューアル前



# リニューアル後



高校生に向けて楽しさが伝わるように  
全体の雰囲気や画像パーツをデザイン

## トップページに生き物写真のライドショーを設置



## 動きのあるライドショーを設置

写真12点を1グループとして左右に動くライドショーを設置。

写真の上にマウスを乗せると、写真を明るくハイライト表示して、選択されていることをわかりやすく見せています。



## 楽しさを訴求するための画像パーツ



生き物と関連性をもたせるために、ナビゲーション(メニュー)は大地と草木のあしらいとしました。マウスをオーバーさせると水をイメージした青色に変化します(水中に生息する生物に関連づけています)。



特に見せたいコンテンツへの誘導として、それぞれの特徴にあわせた画像バナーを作成しました。

## Movable Typeでお知らせを情報を簡単に更新できるように



お知らせコンテンツをMovable Typeで構築。更新担当のかがHTMLファイルを編集することなく、管理画面から簡単に更新が可能。



北大生物学の特徴お知らせ生体物で探すキーワードで探すいきものがたり生物学者列伝

## お知らせ

■ ニュース 2009年8月24日

### コオロギは考えるー記憶を読み出すしくみを解明(水波誠教授)

コオロギの報酬や罰の記憶の読み出しに、異なる2種類のニューロンの活性化が必要だが、水波誠教授のグループ(東北大学、現在 北海道大学大学院生命科学院、[水波研究室URL](#))により解明され、8月4日付で米国の科学雑誌BMC Biologyに発表されました([論文](#))。

これらはオクトパミンおよびドーパミンを伝達物質とし、報酬および罰の情報を伝えるニューロンです。

今回の発見は、昆虫とヒトなどの哺乳類の間で、記憶を読み出す仕組みに類似性があることを示しています。昆虫では、学習した刺激を受けると、脳の中でその刺激と結びつけて覚えた報酬や罰の情報を伝えるニューロンが活性化されますが、これは私達ヒトでは、学習した刺激を受けると、報酬や罰を“頭に思い浮かべる”ことに似ています。

今後、昆虫の記憶のしくみを更に調べることで、ヒトの記憶のしくみの解明に結びつくことが期待されます。

本研究成果は、8月5日に北海道新聞、読売新聞、日経プレスリリースで紹介され、8月6日にHBCテレビ「The NEWS北海道」でも紹介されました。



学習した匂いを探索するコオロギ

前の記事: [藤森千加さんと大谷哲さんが優秀発表賞に選ばれました](#)

### カテゴリー別お知らせ一覧

[イベント \(8\)](#)  
[プレスリリース \(8\)](#)  
[ニュース \(8\)](#)

### 月別お知らせ一覧

[2009年8月 \(2\)](#)  
[2009年6月 \(3\)](#)  
[2009年5月 \(2\)](#)  
[2009年4月 \(2\)](#)  
[2009年2月 \(1\)](#)  
[2009年1月 \(3\)](#)  
[2008年11月 \(1\)](#)  
[2008年10月 \(2\)](#)  
[2008年8月 \(2\)](#)  
[2008年7月 \(3\)](#)  
[2008年6月 \(3\)](#)

 [お知らせをRSSで購読](#)

### 入学するには

- ▶ 高校生の皆さんへ
- ▶ 入試情報
- ▶ 見学・説明会について

### 4年間の学び

- ▶ 学部生の皆さんへ
- ▶ 4年間の流れ
- ▶ 科目・講義紹介
- ▶ 教員一覧

### 卒業後の進路

お知らせの記事の詳細ページ

文章や画像で組まれたページが簡単に作れます

基本的には、管理画面で原稿を入力し、画像をアップロードして保存をおこなうだけ。



## カテゴリごとにアイコンを表示

カテゴリごとにアイコンを表示することで、直感的にわかりやすくしています。

Movable Type標準の機能としては備わっていないため、PHPの条件分岐処理というカスタマイズをおこなって表示させています。

メインターゲットの高校生に訴求するための  
遊びのあるデザイン・画像制作

トップページに生き物写真のスライドショーを設置

Movable Typeで、  
お知らせ情報を簡単に更新できるように構築

## 事例2

# 北海道大学 大学院文学研究科・文学部 様



**北海道大学 大学院文学研究科・文学部**  
Hokkaido University Graduate School of Letters / Faculty of Letters

入試情報 資料請求 アクセス サイトマップ 北海道大学トップ  
English

北大で学ぶ文学  
「ことば」の学び舎として  
沿革  
学生生活のサポート  
教員一覧

大学院文学研究科  
研究・教育システム  
北大文学研究科への招待状  
修士課程  
博士課程  
社会人入学  
長期履修制度  
研究支援プログラム  
海外留学制度  
専門研究員制度  
研究生・聴講生・科目等履修生  
資格・就職・進学  
取得できる免許・資格  
進路データ  
修了生の声  
文学部

インフォメーション アーカイブ 思想文化学 歴史地域文化学 言語文学 人間システム科学

思想 映像 倫理 科学 心理 芸術 社会 哲学 「ことば」の学び舎 歴史 行動 宗教 文化 人間 地域 生態 統計 環境 調査 実験 文学 情報 表現 言語

Information  
インフォメーション

イベント  
[公開シンポジウム「現代日本の結核」開催のお知らせ\(文学研究科大学院教育改革支援プログラム\)](#)  
2009年8月13日

トピックス  
平成22年度文学部案内本マ...

Lab.letters 研究室からのメッセージ

応用倫理研究教育センター 中地 美枝 准教授  
「ジェンダー史は発見の連続です」ジェンダー史は、ある時代や地域に存在する「男性性」「女性性」やセクシュアリティについての「常識」がどのような文化、経済、社会、政治のコンテクス...

[もっと読む](#)

サイトリニューアルの目的

# 各教員や講座ごとの具体的な研究を紹介する コンテンツを設け、読んでもらいたい

このサイトを一番見せたい相手

## 大学院進学希望者

大学からWebサイトリニューアルを受注された科学技術コミュニケーション工房  
スペースタイム社が企画・ディレクションを担当し、制作をアイタスでおこなった  
サイトリニューアル事例です。

「Lab.Letters」という教員紹介をはじめとした、スペースタイム社からの  
企画コンテンツを活かすべく、大量の情報を簡単に管理できるしくみ実現。

企画・ディレクション：科学技術コミュニケーション工房 スペースタイム  
制作：アイタス



## サイト全体で統一感のあるデザインへリニューアル

### リニューアル前のトップページ

**北海道大学大学院文学研究科・文学部**

Hokkaido University Graduate School of Letters and Faculty of Letters

サイト内検索 powered by Google

検索

---

● ホーム  
 ● 大学院内  
 ● 学域案内  
 ● イベント・ニュース  
 ● 募集  
 ● 基金・機関誌  
 ● 入学者希望者用ページ  
 ● リンク  
 ● アクセス

---

北海道大学 CSM 心の社会性  
 心と文化の創造学部  
 大学院教育政策推進プログラム

---



公開講座	卒業生支援	学位取得
学生奨学金	修業	入学案内

---

### >>お知らせ

- [2009/04/01] 学位伝達式が行われました。
- [2009/04/01] 修士課程入学試験問題(平成21年度過去問)を掲載
- [2009/03/30] 時間割等配布のお知らせ(修士2年次、博士2・3年次対象)を掲載
- [2009/03/30] 時間割等配布のお知らせ(学部・4年次対象)を掲載
- [2009/03/30] 履修コースガイダンスのお知らせ(学部2年次対象)を掲載
- [2009/03/30] 進級および履修コースの決定について(学部2年次対象)を掲載
- [2009/03/30] 公開講座「老」用の」のお知らせを掲載
- [2009/03/06] 学位記伝達式と祝賀会のお知らせを掲載
- [2009/03/06] 2009年度 行事予定表を掲載
- [2009/03/06] 平成21年度 外国人留学生(研究生)の受け入れについて掲載
- [2009/02/24] ザグレブ大学との学術交流協定締結について掲載
- [2009/02/13] 「平成20年度学位授与式」について掲載
- [2009/02/01] ザグレブ大学との学術交流協定締結の記念講演会のお知らせを掲載
- [2009/02/03] 大学院教育改革支援プログラム：国際セミナーのお知らせを掲載
- [2009/02/02] 「卒業・修了者の決定について」を掲載
- [2009/02/02] 「学修簿」の配布について。(最終学年対象)を掲載
- [2009/01/27] 平成21年度 研究生・聴講生・科目等履修生募集案内を掲載
- [2008/11/18] 修士論文、特定課題演習に関するお知らせを掲載
- [2008/10/27] 卒業論文・修士論文、学位記、進路調査に関するお知らせを掲載
- [2008/10/22] 3年次編入および転部転部試験問題(平成21年度過去問)を掲載
- [2008/10/12] 修士課程入学試験問題(平成21年度過去問)を掲載
- [2008/10/15] 研究推進F02008「研究プランニングⅡ」申請書はこう書くが公開されました。
- [2008/10/06] 履修登録の確約について(学部大学院)を掲載

[過去の お知らせ](#)

---

**『文学研究科紀要』『文学部紀要』『文学研究論集』に論文を掲載された方へ**

本研究所では、「北海道大学文学研究科紀要」、「北海道大学文学研究論集」、および、「北海道大学大学院紀要」の三誌を「北海道大学学術成果コレクション(愛



## リニューアル後のトップページ

北海道大学大学院文学研究科・文部学部  
Graduate School of Letters / Faculty of Letters

入試情報 | 資料請求 | アップ サイトマップ | 北海道大学へ戻る

---

## 生涯で学ぶ文化

> にほんの歴史を通して  
> 沿革  
> 学生生活のサポート  
> 研習一覧

## 大学院文学研究科

専攻：東洋学  
専攻：国語学  
専攻：日本文学研究科への国際的  
修士課程  
博士課程  
社会人入学  
長期履修制度  
経済学部のプログラム  
海外留学奨励  
海外研究員奨励  
研究生・特選生・科目毎履修認定  
学位（授与）：文学士  
取得できる単位・試験  
推薦プログラム  
入学した声

## 言語学

専攻：フランス語  
4年制総合型の流れ  
通訳翻訳専攻  
研究生・特選生・科目毎履修認定  
学位（授与）：文学士  
取得できる単位・試験  
推薦プログラム  
入学した声

## 大学院「言語共通」

中国語学  
英語学  
アジア史  
南アジア・地域  
漢語センター施設  
論文・証明書  
研究会

## プロジェクト

CSE  
CSN  
にほのくに未来を  
開くための教育研究拠点  
  
子ども育ちと子育て支援  
人文分野における  
実践的研究者の育成拠点

---

### インフメーション    アーカイブ    思想文化学    歴史地域文化学    言語文学    人間システム科学



## Information インフメーション

- 教職情報**  
[授業目録\(更新\)しました。](#)  
2009年6月18日
- 入試情報(学部)**  
[高1学年入試入学、募集要項を載せました](#)  
2009年6月18日
- 入試情報(大学院)**  
[大学院 学生募集要項を更新しました。](#)  
2009年6月18日
- 入試情報(大学院)**  
[大学院進学説明会\(札幌会場\)を開催されました。](#)  
2009年6月18日
- 事業(人材・財成金)**  
[今年度「若生の人文学」助成基金の申請の受付について](#)  
2009年6月18日
- トピックス**  
[大学院生の無差別な暴力。不正入学と卒業後の就職活動費負担上。](#)  
2009年6月18日
- 教職情報**  
[実習指導員赴任における新設実習科目の新規導入について](#)  
2009年6月18日
- イベント**  
[『宇野浩二先生追悼シンポジウム』開催決定のお知らせです。](#)  
2009年6月18日
- トピックス**  
[実習開始！実習公式ウェブサイトもリニューアルオープンしました。](#)  
2009年6月18日
- [過去の記事表示を表示](#)

## Lab.letters 研究室からのメッセージ



**右からうえ、の社会を疑う  
科学技術の進歩に倫理のまなびを**  
倫理学講座 藤田 雅雄 教授  
人間の科学技術を利とした機能が増えていったといふ課題が生まれます。医療や農業、環境などさまざまな場面で行われておき、暮らし、いかにその安全や国家の安否に影響を及ぼす、それが議論。  
[もっと読む](#)



**ミュージアムの自己保存をサポート  
地域や社会に求められる存在を**  
北方文化講座 佐々木 孝 教授  
ミュージアムと言っても展示するものがわからぬといふ混沌たる現状があることにはたゞりません。世界の遺産は遠く離れたところでも、文字を通じての発信だけではなく、日本のミュージアムにもあり得る。  
[もっと読む](#)



**風流・御伽・奇想・幽玄  
漫遊者たちの豊かな脳内ゲーム**  
日本文化伝播講座 長谷川千尋 准教授  
日本の世の中に盛んだった物語の文章の書き手と言われる、種籍をも異れ創作芸術家でした。お七・五の真如中、油の八束・七の九郎次郎、その次の人物たちのお七・五とけつていく。  
[もっと読む](#)



**日本で読める社会学のフロントランナー  
グローバルCIE拠点として世界が目撃**  
行動システム科学講座 山岸 俊男 教授  
私自身専門とする社会学では、個人の心の社会的形成のことに関わっているのを大変興味を持って取り組んでまいりました。昔々一冊の本が社会や世界的な不況を生みださない限り、社会を変えて。  
[もっと読む](#)

[ページ最初に戻る](#)

---

[トップ](#) [このサイトについて](#) [お問い合わせ](#) [アクセス](#) [リンク集](#) [プライバシーポリシー](#) [サイトマップ](#)

Copyright © 2008 Graduate School of Letters / Faculty of Letters, Hokkaido University. All rights reserved.

より情報発信力の強化をはかるために、現在のディスプレイ解像度によってページ幅を大きくし、1ページに表示する情報量を増加させるレイアウトとしました。

# サイトのメインコンテンツである教員個別ページ

## 思想文化学専攻 倫理学講座

蔵田 伸雄 教授 / KURATA Nobuo

研究分野	応用倫理学、現代英米倫理学、西洋哲学史
研究内容	遺伝子医療、クローン技術などに関わる生命倫理、世代間倫理などの環境倫理学、リスクや遺伝子組換え技術等に関わる科学技術倫理、カント哲学、現代英米規範倫理学・政治哲学、メタ倫理学、科学技術社会論
キーワード	人間の尊厳、リスク、生命倫理、科学技術倫理、サステイナビリティ



## Lab.letters 研究室からのメッセージ



右にならえ、の社会を疑う  
科学技術の進歩に倫理のまなざし

人間が科学技術を手にした瞬間に「使ってみよう」という誘惑が生まれます。医療や農業、環境などさまざまな場面で使われていくと暴走してしまうような大衆や国家の流れに警鐘を鳴らす、それが倫理学の使命です。

私の目下の研究テーマは生命倫理と環境倫理。例えば臓器移植を語る際にも、医療技術の問題や費用に関する経済的な側面、そして「生命」とは何かを問う倫理的な視点など、重なり合う諸問題をひもとく力が要求されます。また、環境倫理では、我々の世代が次の世代に及ぼす影響を考える世代間倫理の問題も関わってきます。進歩する科学技術と社会との間にどんな接点を見い出すのか、その答えを探し続けています。



＜写真左＞ネットワークに定評があり、研究分野も幅広い蔵田先生。親身になった指導を実感する



## おすすめの本

『ゴルギアス』プラトニ 岩波文庫  
倫理・正義・道徳・哲学・民主主義・幸福・権力・理性といった古くから難しい問題について語っている。

## 略歴

1963年兵庫県生まれ。1987年京都大学文学部卒業。1989年同文学部研究科修士課程修了。1994年同博士後期課程退学。三重大学人文学部助教授などを経て、2001年10月北大文学部研究科助教授。2009年4月同教授

## 主要業績

・編著書 新田孝彦・蔵田伸雄・石原孝二編『科学技術倫理を学ぶ人のために』世界思想社 2005年  
・共著 北海道技術者倫理研究会編『オムニバス 技術者倫理』共立出版 2007年(第1章「なぜ技術者倫理を学ぶのか」)  
・共著 赤林朗編『入門・医療倫理Ⅱ』勁草書房 2007年(第7章「権利論」)  
・論文『カントと現代の「心の哲学」—「認識論の自然化」との対峙に照らすカント的な認識論のスケッチの試み—』『日本カント研究』カントと心の哲学』理経社 2007年  
・監訳 アルバート・R・ジョンソン 著 赤林朗・蔵田伸雄・児玉弘監訳『臨床倫理学 第6版』研興医学出版社 2006年

## 所属学会

科学技術社会論学会、日本生命倫理学会、日本医学哲学倫理学会、日本カント学会、日本倫理学会、日本哲学会、応用哲学会、日本イギリス哲学会、日本科学哲学会、北海道哲学会など、Europe Association of Science, Technology, and Society

## 兼務職

文学研究科・応用倫理研究教育センター(CAEP)運営委員、サステイナビリティ学教育研究センター(CENUG)研究開発専門委員会委員、科学技術コミュニケーション養成ユニット(CoSTEP)教員

## 関連サイト

研究室	TEL
e-mail kurata@let.hokudai.ac.jp (※を半角@で変えて入力ください)	FAX
担当授業(大学院)	現代哲学特別演習、倫理学特別講義、倫理学特別演習、応用倫理学特別講義、応用倫理学特別演習、近世哲学特別講義など
担当授業(文学部)	倫理学概論、倫理学、倫理学演習、哲学演習
担当授業(全学教育)	思索と言語(論文指導など)

各教員ごとに個別ページを用意し、  
管理画面から情報を管理しています。

# 100ページを超える教員個別ページを簡単に更新管理できるしくみ

思想文化学専攻 倫理学講座

画像の登録・表示もおこなえるように構築

研究分野	応用倫理学、現代英米倫理学、西洋哲学史
研究内容	遺伝子医療、クローン技術などに関わる生命倫理、世代間倫理などの環境倫理学、リスクや遺伝子組換え技術等に関わる科学技術倫理、カント哲学、現代英米規範倫理学・政治哲学、メタ倫理学、科学技術社会論
キーワード	人間の尊厳、リスク、生命倫理、科学技術倫理、サステイナビリティ

100名を超える各教員の個別ページをMovable Typeから出力するように構築。管理画面からは、あらかじめ設定された入力項目に情報を入力するだけで、統一感のあるページが生成されるようにしました

おすすめの本	『ゴルギアス』プラトン 岩波文庫 倫理・正義・道徳・哲学・民主主義・幸福・権力・理性といった古くて新しい問題について議論している。
略歴	1963年兵庫県生まれ。1987年京都大学文学部卒業、1989年同文学研究科修士課程修了、1994年同博士後期課程退学、三重大学人文学部助教授などを経て、2001年10月北大学研究科助教授、2009年4月同教授
主要業績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編著書 新田孝彦・蔵田伸雄・石原孝二編『科学技術倫理を学ぶ人のために』世界思想社 2005年</li> <li>・共著 北海道技術者倫理研究会編『オムニバス技術者倫理』共立出版 2007年(第1章「なぜ技術者倫理を学ぶのか」)</li> <li>・共著 赤林朗編『入門・医療倫理Ⅱ』勁草書房 2007年(第7章「権利論」)</li> <li>・論文「カントと現代の「心の哲学」－「認識論の自然化」との対比におけるカント的な議論のスケッチの試み－」『日本カント研究8 カントと心の哲学』理想社2007年</li> <li>・監訳 アルバート・R・ジョンセン他著 赤林朗・蔵田伸雄・児玉聡監訳『臨床倫理学 第5版』新興医学出版社2006年</li> </ul>
所属学会	科学技術社会論学会、日本生命倫理学会、日本医学哲学倫理学会、日本カント協会、日本倫理学会、日本哲学会、応用哲学会、日本イギリス哲学会、日本科学哲学会、北海道哲学会など、Europe Association of Science, Technology, and Society
兼務職	文学研究科・応用倫理研究教育センター(CAEP)運営委員、サステイナビリティ学教育研究センター(CENSUS)研究調査専門委員会委員、科学技術コミュニケーション養成ユニット(CoSTEP)教員
関連サイト	<a href="#">研究室</a>
	<div>研究室</div> <div>TEL</div> <div>e-mail</div> <div>FAX</div> <div>kurata@let.hokudai.ac.jp</div> <div>(※を半角@に変えて入力ください)</div>

## 入力項目が30を超える 大量の情報を簡単に管理・更新できるしくみを構築。

管理画面の入力欄に必要な情報を入力するだけで、簡単にレイアウトの統一されたページができあがるようにしています。

管理画面にはあらかじめ入力欄が用意されているため、簡単に管理できます。



記事内では、写真とメッセージのテキスト構成で、講座の研究内容や各教員の取り組みを紹介し、受験希望者への訴求コンテンツとなっています。

Lab.Lettersは記事追加時に、自動的にフィード配信をおこなっています。

フィードリーダーを使用している閲覧者に対して、自動的に更新されたことを通知します。

それによって、読み手に「記事を読んでもらう」と「サイトからの情報発信力強化」の2点で有効に機能しています

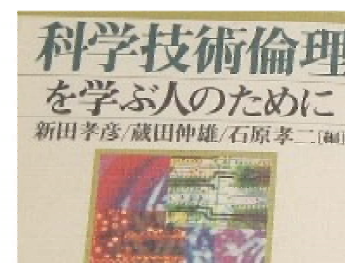
## Lab.letters 研究室からのメッセージ



右にならえ、の社会を疑う  
科学技術の進歩に倫理のまなざし

人間が科学技術を手にした瞬間に「使ってみたい」という誘惑が生まれます。医療や農業、環境などさまざまな場面で放っておくと暴走してしまうような大衆や国家の流れに警鐘を鳴らす、それが倫理学の使命です。

私の目下の研究テーマは生命倫理と環境倫理。例えば臓器移植を語る際にも、医療技術の問題や費用に関する経済的な側面、そして“生命とは”を問う倫理的な視点など、重なり合う諸問題をひもとく力が要求されます。また、環境倫理では、我々の世代が次の世代に及ぼす影響を考える世代間倫理の問題も関わってきます。進歩する科学技術と社会との間にどんな接点を見い出すのか、その答えを探し続けています。



<写真左>フットワークに定評があり、研究分野も幅広い蔵田先生。親身になった指導を实践する

「Lab.Letters 研究室からのメッセージ」という、各教員の研究内容を紹介するコーナーです



# トップページに4専攻のサムネイル画像とタイトルを表示



トップページの  
こちらの部分に注目

ここも  
Movable Typeで  
管理しています。

Information  
インフォメーション

イベント  
[公開シンポジウム「現代日本の結婚」開催のお知らせ\(文学研究科 大学院教育改革支援プログラム\)](#)  
2009年8月13日

トピックス  
[平成22年度文学部案内をアーカイブに掲載](#)  
2009年8月3日

入試情報(学部)  
[【文学部】学部入試情報をお探の方へ](#)  
2009年7月30日

入試情報(大学院)  
[【文学研究科】大学院入試情報をお探の方へ](#)  
2009年7月30日

イベント  
[オープンキャンパスのご案内](#)  
2009年7月24日

トピックス  
[文学研究科紀要 第128号をアーカイブに掲載しました](#)  
2009年7月23日

教務情報  
[学修簿の公開・配付について\(再掲\)](#)  
2009年7月22日

募集(人材・助成金)  
[教員公募情報\(地域システム科学講座\)](#)  
2009年7月17日

入試情報(大学院)  
[大学院進学説明会で出されたご質問にお答えいたします](#)  
2009年7月15日

[過去の記事を全て表示](#)

Lab.letters 研究室からのメッセージ



東アジアで変遷する仏の教え  
僧侶も学ぶ大学院の専門研究

宗教学インド哲学講座 藤井 教公 教授

インド生まれの仏教は東アジアを伝播しながら各国特有の変遷を遂げてきました。例えば、大乗仏教では誰もが成仏できることを理想とし、その可能性を仏性(ぶっしょう)と呼びますが、中国では...

[もっと読む](#)

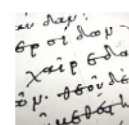


時間と空間のクロスオーバーで  
新たな歴史の姿を浮き彫りにする

西洋史学講座 長谷川 貴彦 准教授

歴史を学ぶおもしろさとは、時間と空間の二つの軸をもって物事をとらえていくところにあります。一つ一つの点を集積し線につなげて分析することで、新しい歴史の姿が見えてきます。私の専門...

[もっと読む](#)

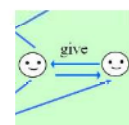


時代の手を介してきた古典文献  
「原初の光」に近づく知の一步

西洋文学講座 安西 真 教授

遠く紀元前の時代に古代ギリシア語で書かれた古典は、「書写」を繰り返して今日まで伝えられてきました。幾人もの手を介した古典を読むときは、思わぬ落とし穴に注意しなければなりません。例...

[もっと読む](#)



お金、サービス、愛情の交換  
個人と社会の相互関係を探る

行動システム科学講座 高橋 伸幸 准教授

「社会的交換」とは、人間社会が資源とみなすもの...お金やサービス、情報に限らず、愛情、尊敬といった互いに価値を見出すものを交換しあうことを指しています。小さな集...

[もっと読む](#)

4つの専攻それぞれに  
Movable Typeで  
ブログを作成し、  
トップページに集約して  
表示させています

それぞれのブログで、投稿日が最新の1件をサムネイルつきで表示

専攻ごとに更新情報は  
フィード(RSS)で配信  
しています

## 適切な文字サイズ・行間・1行の文字数になるように調整

### 人文・社会科学の豊かな知を求めて



人文・社会科学では、人間が生み出してきた思想、社会、文化、歴史を見つめ、それらの意味について根源的に考えます。こうした学問的方法を継承し、かつ現代的課題に応えるために、人間のあらゆる認識と表現の根幹である「ことば」の教育に力を尽くすこと—私たちはそれを教育理念に掲げています。

文系理系ともに充実した基幹総合大学の、大都市のまん中にある美しいキャンパスで、徹底した少人数教育を受けられるという、現代の日本では稀有な教育環境が、皆さんを待っています。

ディスプレイで見たときにも読みやすくなるように、文字サイズや行間、1行の文字数を調整し、レイアウトを設計しました

## 余白や行間などの調整に注意して適切な空間を設け、膨大にある情報を読みやすく整理

100ページを超える教員個別ページを  
Movable Typeで更新管理できるしくみを構築

トップページに4専攻のサムネイル画像と  
タイトルを表示(自動で表示されるように)

テキスト(文字)の読みやすさにおいて、  
余白や行間などの調整に注意して適切な空間を設け、  
膨大にある情報を読みやすく整理

CMS(簡易更新システム)を用いた  
記事投稿のデモをおこないます。



おわりに

クライアントとともに、サイトの目的に向けて  
作りあげていくことを大切にしています。

更新を簡単にしたい

デザインを刷新したい

どのように実現したらよいかを相談したい

最後までご覧いただき、  
ありがとうございます。